



かわせみ通信

自然観察園だより

※野外施設の情報は、ホームページで詳しく見られます↓

県立自然環境保全センター 生き物 検索



暑い夏の日差しの中に、気になる虫と言ったら皆さんは何を思い浮かべますか？
この時期から9月いっぱいまで、たとえ虫が居そうにない都会であっても、うるさいほどの大音響。
そう！子供の頃から親しんでいる蝉（セミ）ですよね。自然観察園の雑木林でもセミの大合唱が
続いています。

かつての自然観察会で、参加していたカナダ人の子供が、ヒグラシの鳴き声を聞いて「今鳴いて
いる鳥は何ですか？」とたずねてきたことがあります。森の中全体に響きわたる大きなサウンド、
しかもカナカナカナ・・・というユニークなものですから小さな虫が奏でているとは思わなかった
のでしょうか。

セミの抜け殻を 探してみよう！

背の高い樹木がみら
れる自然観察園の雑木
林や樹木観察園では、
観察路を歩くと地面に直
径2cm程の小さな穴が
いくつも見られます。こ
の穴は、土の中で過ご
したセミが羽化するた
めに地上へ出てきた穴
なので、この周辺を探
してみると抜け殻を見つ
けられますよ。

自然観察カード NO.64
を参照してください。

セミのなきごえ（正確には音を奏でている）の聞こえる時期

	7月			8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
ニイニイゼミ	●	●	●	●	●	●			
ヒグラシ		●	●	●	●				
アブラゼミ			●	●	●	●	●	●	●
ミンミンゼミ			●	●	●	●	●	●	●
クマゼミ			●	●					
ツクツクボウシ				●	●	●	●	●	●



ニイニイゼミの抜け殻
体に泥がついている。
高さ1mまでの位置につく。



アブラゼミの抜け殻
たくさん集まっていることが多い。
木の幹など高い位置にもつく。

7・8・9月のミニ観察会（各会とも申込不要、当日午後1時に本館前集合、雨天も実施）

7月：5, 12, 19, 20, 26日 8月：2, 9, 16, 23, 30日

9月：6, 13, 20, 21, 22, 23, 27日

傷病鳥獣救護の情報

※救護原因の詳細やその他の情報は、ホームページ↓

神奈川県 自然保護課 野生動物救護 検索



頭をフラフラさせた鳥（ムクドリの巣立ちビナ）が座った状態で持ち込まれました！いったい、何があったのでしょうか。

保護した方のお話を伺うと、大きなガラス窓に衝突して、動けなくなっているところを保護したそうです。毎年、持ち込まれる救護原因のトップ3に入るのが、この「衝突」です。どうして起こるのでしょうか。

ムクドリの巣立ちビナ

それは、右の写真のようにガラス窓に空や樹木などが映り込んでしまうことにより、その先にも行けると思い、ぶつかってしまうのです。

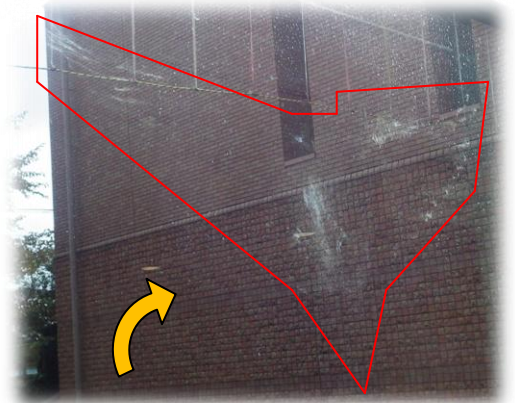
下の写真は、ハトの衝突痕です。種類によっては痕が残るので姿はなくてもぶつかったことがわかります。しかし、多くの場合は痕が残らず、しかも衝突した鳥が他の生き物によって持ち去られてしまいます。従って、発見されていない衝突した鳥は、沢山いると思われます。

運よく保護できたとしても衝突した鳥は見た目以上に体内に衝撃を受けているため、治療することが難しく、今回持ち込まれたムクドリも残念ながら助けることができませんでした。

このような事故は、住宅の小さな窓でも起こっていて、多くの鳥が亡くなっています。これらを少しでも防ぐためには、ガラス窓への樹木や空の映り込みをなくさなければなりません。例えば、カーテンやブラインドをやるなど、私たちにできることから始めてみませんか？



ガラス窓に映った樹木と空



鳥の形をした衝突痕

<平成27年4月～6月の実績報告>

〔受付件数の多かった上位5種〕

1位	スズメ	(42件)
2位	ムクドリ	(29件)
3位	ツバメ	(27件)
4位	シジュウカラ	(18件)
5位	タヌキ	(13件)

〔主な救護原因〕

<鳥類>	巣の撤去
	ガラス窓への衝突
	イヌやネコに襲われる
<哺乳類>	疥癬（かいせん）症



カワセミ